

# 臨時農業生産情報

## (低温に対する技術対策)

令和2年5月18日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表（5月18日11時22分）「低温に関する青森県気象情報第1号」によると、19日から22日頃にかけて、最高気温が平年に比べてかなり低くなる所がある見込みであることから、農作物の栽培管理に留意してください。

### 1 水 稲

- (1) 低温時は、できるだけ田植えを避け、天候の回復を待って実施する。
- (2) 田植えが終わった水田では、苗が冠水しない4～5cmの程度のやや深水で保温し、活着の促進に努める。

### 2 野菜・花き

- (1) ハウス栽培や育苗では、必要に応じて保温資材で保護するか暖房機器で加温する。また、苗の定植は、天候の回復を待って行う。
- (2) トンネル栽培では、保温資材で二重被覆する。
- (3) 露地栽培の場合では、べたがけ資材で被覆する。
- (4) 被害を受けても回復の見込みがある場合は、早急に葉面散布剤などの散布により、回復に努める。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ 総括主幹 腰巡好之 (野菜、花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ 総括主幹 高橋宗壽
電話番号	(水稲) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜、花き) 直通 017-734-9485、内線 5076
報道監	農林水産部 次長 石澤雅史、内線 4966 次長(農商工連携推進監) 赤平次郎、内線 4967

#### 【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。